

定例交流会

2025年9月25日(木)

オンライン 19～20時

事前申込制・参加費無料

少数意見を可視化し、公正に意見をまとめるファシリテーション・グラフィックの実際



話題提供

藪田 雪子 (大阪NPOセンター 事務局次長/本研究会 理事)

共生社会とは、多様な背景をもつ人々が尊厳をもって生きることができる公正な社会。それを目指すには、何かを決めるときに、少数意見にも配慮し、公正に意見をまとめていくことは欠かせません。

そんな「ファシリテーション・グラフィック」の実際に触れながら、言葉を可視化していくことの大切さについて、共に考えてみませんか？

<プログラム>

1. 開催挨拶(5分) 柏木 宏(本研究会 会長)
2. ファシリテーション・グラフィックに関する話題提供(40分)
3. 質疑応答など(15分)

主催

大阪市立大学共生社会研究会

<https://coexistingl.wixsite.com/academy>

大阪公立大学 人権問題研究センター内 (大阪市住吉区杉本3-3-138)

お問い合わせ

大阪市立大学共生社会研究会 担当：古山/宮本

coexisting.academy@gmail.com



大阪市立大学共生社会研究会

共生社会の創造とNPO

お申込み

2025年9月21日(日)までに、下記のQRコードからお申込みください。
ただし、先着100名となります。



<https://forms.gle/Pd3Q2Pii32Wu2J5v8>

定例交流会 (オンライン)

本研究会では、2025年度から奇数月の15日(*土日祝日の場合は25日)、19～20時にオンラインでの定例交流会をはじめました。主として会員相互の交流の場の提供を目的にしておりますが、非会員の方の参加も歓迎いたします。途中入退室自由のアットホームで和やかな集いになりますので、どうぞお気軽にお申込みください。

共生社会研究

共生社会とは、多様な背景をもつ人々が尊厳をもって生きることができる公正な社会。それを目指すには、構造的に存在する不平等の可視化や抑圧と搾取に立ち向うトランスナショナルな社会的連帯のための理論の構築が欠かせません。そうした社会を変革する力を創りだしていくこと——私たちは、このようなものとして「共生社会研究」を捉えています。